

生活交通の維持・確保に関する方策について

千葉県バス対策地域協議会印旛分科会

乗合バス事業については、平成14年2月の改正道路運送法の施行に伴い、需給調整規制は廃止され、事業への参入・退出等の規制が緩和されました。

これにより、交通需要の少ない地方部における乗合バス路線については、不採算路線からの退出の加速が懸念され、地域住民の皆様にとって真に必要な生活交通の確保に支障を来たすことが危惧されています。

このため千葉県では、「千葉県バス対策地域協議会」を設け、さらに各地域振興事務所及び交通計画課に「分科会」を設けて地域のニーズに応じた具体的な生活交通確保のための方策を協議することとしています。

このたび印旛分科会では、乗合バスを運行するバス事業者から今後の運行について協議の申出のあった路線について、別添のとおり協議しましたので、その結果を公表します。

令和8年7月16日

千葉県バス対策地域協議会印旛分科会
(事務局：千葉県印旛地域振興事務所 企画課内)
〒285-8503 佐倉市鎗木仲田町8-1
電話番号 043-483-1111

千葉県バス対策地域協議会第1回分科会協議結果総括表

分科会名：印旛分科会
協議年月日：令和8年4月10日

協 議 路 線				関 係 市町村	分科会における協議結果	備考
事 業 者 名	路 線 名	起 点 ・ 終 点 (経 由 地)	協 議 申 出 内 容 (実 施 予 定 年 月 日)			
ジェイアールバス 関東株式会社	多古本線	八日市場・成田 (多古本町・三里塚)	国県補助を受け運行を維持 (令和8年10月1日～令和9年9月30日)	成田市 匝瑳市 多古町 芝山町	生活路線として必要であり、申出どおり国及び県の補助を受けて運行を維持する。 また、関係市町及び事業者で路線を維持するための施策を実施していく。 (補助対象期間 令和8年10月1日～令和9年9月30日)	継続
		八日市場・成田 (多古本町・芝山千代田・三里塚)	国県補助を受け運行を維持 (令和8年10月1日～令和9年9月30日)	成田市 匝瑳市 多古町 芝山町	生活路線として必要であり、申出どおり国及び県の補助を受けて運行を維持する。 また、関係市町及び事業者で路線を維持するための施策を実施していく。 (補助対象期間 令和8年10月1日～令和9年9月30日)	継続

令和 9 年度地域間幹線系統確保維持計画

○事業に係る目的・必要性、目標、効果、取組

No.	事業者名	系統名	起点・終点 (主な経由地)	1. 目的・必要性	2. 定量的な目標・効果	3. 目標を達成するために行う事業（生産性向上の取組を含む）		
						取組内容	実施時期	実施主体
1	ジェイアール バス関東 株式会社	多古本線	八日市場・成田 (多古本町・ 三里塚・ 芝山千代田)	・匝瑳高校、多古高校への通学 ・成田駅周辺の通勤・通学・買い物 ・三里塚地域の旅客の通勤・通学・買い物 ・国保多古中央病院への通院の手段として必要である。 ・JR 成田駅や八日市場駅などの交通結節点へアクセスするための主要な交通手段であるために必要である。	令和 8 年度と比較して収支率 1 %以上改善	関係自治体及び学校等と連携を図り、イベントや広告媒体を活用することで利用促進に努める。	令和 8 年 10 月以降実施	ジェイアールバス関東株式会社
						継続して Web 定期券の販売促進を行う。	令和 8 年 10 月以降実施	ジェイアールバス関東株式会社
						高校進学等を控えた市内の中学 3 年生に対し、バスの時刻表等の情報を掲載したリーフレットを配布し、バス利用の促進を図る。	令和 8 年 10 月以降実施	成田市
						高校生に対しバスの時刻表や定期券等の情報を記載したチラシを配布する。	令和 9 年 3 月実施	匝瑳市
						市ホームページにバス利用の情報提供の掲載や匝瑳市総合公共交通マップを公共施設やイベント等で配布し、周知及びバスの利用促進を行う。	令和 8 年 10 月以降実施	匝瑳市
						ホームページで路線図・時刻表など路線バスに関する情報提供を実施する。	令和 8 年 10 月以降実施	多古町
						町内イベント等において路線バス乗り方教室を開催する。	令和 8 年 10 月以降実施	多古町

No.	事業者名	系統名	起点・終点 (主な経由地)	1. 目的・必要性	2. 定量的な目標・効果	3. 目標を達成するために行う事業（生産性向上の取組を含む）		
						取組内容	実施時期	実施主体
						中学・高校生等に対し、バス路線の情報を掲載したリーフレットを配布する。	令和9年4月以降 実施	多古町
						芝山町地域公共交通計画に基づく路線の維持として、町ホームページ等の情報発信により利用促進に努める。また、その他の利用促進手法や取り組みについても検討を実施する。	令和8年10月以降 実施	芝山町

地域間幹線系統確保維持計画（原案）に対する意見募集の結果について

令和8年4月10日付けで開催した印旛分科会に係る「地域間幹線系統確保維持計画」の決定にあたり、同年6月4日から18日まで計画原案に対する意見を募集したところ、多古本線（ジェイアールバス関東株式会社）について提出された意見及び検討結果は次のとおりです。

- 1 意見の提出件数 3件
- 2 意見の概要と検討結果 以下のとおり

意 見 の 概 要	検 討 結 果
①免許返納者への割引（運賃半額）制度の導入について JR バス関東では館山支店において、地域を併せて運行している日東交通との兼ね合いから「ノーカーサポート優待証」を館山支店管内限定で導入されているが、成田空港支店には導入されていない。 成田空港支店管内には、京成バス千葉イーストとの共同運行路線があり、京成バス千葉イーストと重複する区間やエリアも含まれていることから、京成においては千葉交通経営当時や成田空港交通経営当時と違って会社合併したことにより、ダイヤモンドパスやゴールドパスなどの高齢者全般向けの乗車券、ノーカーアシスト優待証の免許返納者向けの割引証、夏休みに子供向けに設定されている「こどもんどころパス」が旧千葉交通、旧成田空港交通の路線でも対象になる、定期券は区間式ではなく金額式 IC 定期券となって金額内であればどの区間も利用できるようになる、など、京成バス千葉イーストになって旅客サービスの充実が旧千葉交通、旧成田空港交通時代より大幅に図られていることから、JR バス関東とのサービス格差が顕著になりつつあり、国際医療福祉大学成田病院線では JR のみ金額式 IC 定期券が適用にならない、ダイヤモンドパスやノーカーアシスト優待証が JR のみ使用できないなどの問題がある。そのため、成田空港支店管内においても館山支店と同じ「ノーカーサポート優待証」を導入することによって、京成バス千葉イーストとの兼ね合いで発生している上記の課題を解消して、千葉県内 JR バスの乗車券制度を統一されてはどうか。ご検討をお願いします。	ジェイアールバス関東(株)に確認したところ、「御提案いただいた「ノーカーサポート優待証」の成田空港支店管内への導入につきましては、現時点では対応が難しい状況である。 一方で、交通弱者の利便性向上につながる取り組みであることは認識しているので、今後社内にて前向きに検討していく。」との回答がありました。 いただいた御意見につきましても、千葉県バス対策地域協議会印旛分科会で検討しましたが、令和9年度地域間幹線系統確保維持計画については、原案のとおりとさせていただきます。

意 見 の 概 要	検 討 結 果
②高校生への定期券購入の助成制度の導入について 県内では大網白里市、白子町、長柄町、長南町、南房総市など、高校生や大学生の路線バス通学の定期券購入に対して、助成制度を導入している自治体があることから、芝山町や多古町など本路線沿線の自治体でも導入を検討されてはどうか。	沿線関係市町に確認したところ、「費用対効果及び他路線との公平性の観点から、新たな助成制度を導入することは難しい。」「財政状況を鑑み現時点では難しい。」等の回答がありました。 いただいた御意見につきましても、千葉県バス対策地域協議会印旛分科会で検討しましたが、令和９年度地域間幹線系統確保維持計画については、原案のとおりとさせていただきます。
③八日市場駅～匝瑳高校下間回数券の周知について 八日市場駅～匝瑳高校下間の専用回数券は高校生にとって非常に利用しやすく、バス利用のきっかけになるせっかくの制度なので周知を図っていけるとよい。	匝瑳市に確認したところ、「路線バス利用促進のチラシは、運行事業者を確認し、本路線バスで実施しているサービスを全て記載した上で作成し、配布している。なお、回数券については、令和７年３月３１日をもって、販売を終了している。」との回答がありました。 いただいた御意見につきましても、千葉県バス対策地域協議会印旛分科会で検討しましたが、令和９年度地域間幹線系統確保維持計画については、原案のとおりとさせていただきます。